

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年 6月 8日 更新

事務事業名		校舎等施設修繕事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	教育の健康			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	右田 純司
	施策	9	義務教育の充実			所属課	学校教育課	担当者名	竹田 直広
	施策の柱	36	義務教育施設の整備			所属班	総務施設班	(内線)	5314
予算科目	会計一般	款 10	項 1	目 2	事業連番 10719 他	根拠法令			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 31年度で終了 <input type="checkbox"/> 31年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)					

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	学校施設の維持向上のため修繕工事等を行う。毎年、不具合が生じている学校施設の復旧を行っており、当然必要なものである。特別な変化はない。
【業務の流れ】	設計委託業者を決定後、学校の要望等を確認しながら実施設計を完成させる。その後、実施設計を基に工事発注を行い、修繕工事等を実施する。
【主な予算費目】	委託料、工事請負費。
【意見や要望】	特にはない。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動) (DO)	2年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
【共通】市全小中学校の施設修繕等工事のため、学校施設点検、工事監督に必要な公用車借上料、ガソリン代等を支出した。 市内小中学校全10校の電話回線をひかり回線に替え、留守番電話を設置した。 【小学校】西合志中央小学校普通教室増築工事、南ヶ丘小学校冷水機設置工事、西合志東小学校駐車場排水改修工事等が完了した。 【中学校】西合志南中学校門扉改修工事、西合志南中学校調整池フェンス改修工事が完了した。 【基準に達しなかった理由】西合志中学校において教室不足が懸念され視聴覚室床改修工事を見込んでいたが、既存教室で対応が可能になったことにより施工しなかったため。	市内小中学校の施設修繕工事等に関する事務を行う。 現在リースしている公用車が令和3年1月4日にリース期間満了となるため、公用車を購入する。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→ イ 工事件数		【共通】全校分の留守番電話設置工事の完了 (H31) による事業費の減。 【小学校】前年度に比べ改修事業が小規模となったことによる事業費の減。 【中学校】前年度に比べ改修事業が小規模となったことによる事業費の減。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位) 校	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市内小中学校の施設、施設利用者。	→ イ 学校数	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位) 校	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
適正な状態に復旧する。	→ イ 修理を行なった学校数	
		→ イ 修理を行なった学校の復旧割合
*③成果指標設定の理由と 2年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
市内10校の修繕等の工事を行い、適正な状態に復旧するため。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	29年度 実績(決算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	3年度 予定	4年度 見込	5年度 見込	
① 活動指標	ア 件		21	16	12	13	9	15	15	15	
	イ										
② 対象指標	ア 校		10	10	10	10	10	12	12	12	
	イ										
③ 成果指標	ア 校		10	10	10	10	10	12	12	12	
	イ %		100	100	100	100	100	100	100	100	
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円	52,904					49,592	52,711	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円	202,600	31,900	81,700	78,400	8,000	67,500	225,000	278,900
		その他	千円				11				
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円	89,353	22,356	25,531	20,701	10,115	55,500	103,908	110,889
		(A) 事業費計	千円	344,857	54,256	107,231	99,112	18,115	123,000	378,500	442,500
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤		千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4	4	4
(B) 人件費計	延べ業務時間	時間	2,640	2,640	3,900	3,939	3,900	3,900	3,900	3,900	
	(B) 人件費計	千円	10,443	10,406	15,537	15,610	15,537	15,537	15,537	15,537	
トータルコスト(A)+(B)		千円	355,300	64,662	122,768	114,722	33,652	138,537	394,037	458,037	

事務事業名	校舎等施設修繕事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	-----------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は31年度の事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②2年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 実施設計を行い、修繕等の工事を発注する予定である。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 実施設計を行なっているため、現状維持が妥当である。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に方法が無く、妥当である。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 適正な規格や品質があり、それらを実施設計の中に反映している。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小の人員で対応しているため、削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 学校は公共施設であり、施設の安全確保は当然の義務である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 専門性の高い業務であるため、適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

施工業者を決定し、市内小中学校の修繕等の工事を行うことができた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						